

経済協力開発機構鉄鋼委員会分担金事業

令和4年度予算額 **0.12億円**（0.12億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 本予算は、OECD鉄鋼委員会の分担金を負担するものです。OECD鉄鋼委員会は、29か国 + EUがメンバーとなっており、主要な鉄鋼産業国の政策担当者が出席しています。
- 本委員会では、①世界的な鉄鋼の過剰生産能力問題や貿易障壁など、鉄鋼産業に関する諸課題についての議論、②各国の鉄鋼関連政策に関する情報共有、③各国の鉄鋼市場・生産能力等のデータベースの整備を主として行っています。
- 令和3年度は、鉄鋼分野における補助金データベースの整備や国有企業による越境投資など、過剰生産能力問題の解決に向けた情報収集・意見交換が行われます。この結果を踏まえ、令和4年度にかけて①国有企業による越境投資、②国有企業への政府支援策等について報告書をまとめる予定です。
- 本委員会における議論や情報共有等により、鉄鋼産業が直面するグローバルな課題の解決に向けた方策や取組を共有することで、我が国鉄鋼産業の更なる発展に寄与していきます。

成果目標

- 平成10年度からの事業であり、過剰生産能力問題や貿易障壁等の国際的な課題について、メンバー間での共通認識を形成し、我が国鉄鋼産業の安定的な成長を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

OECD鉄鋼委員会メンバー：29か国 + EU



分担金の負担

OECD鉄鋼委員会

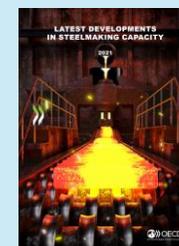
- 本委員会の様子



- 本委員会の報告書例



STEEL MARKET DEVELOPMENTS



LATEST DEVELOPMENTS IN STEELMAKING CAPACITY